



町内役員集合



消防第4分団集合

令和2年12月6日(日)静岡県が定める「地域防災の日」に合わせ、毎年恒例の三島市萩町内会主催による、自主防災訓練が萩公民館及び隣接の神明神社境内で実施されました。

まず初めに町内役員による防災倉庫内に保管されている備品類、発電機、照明器具、チェーンソー、炊き出し用備品などの点検作業と、地元の三島市第4分団消防団員の方々による本日の訓練前事前打ち合わせです(写真上左右)。



受付係り準備



受付開始1

町内会役員さんによる受付準備作業も進んでいます(写真上左)。そして一般参加者の受付開始です(写真上右)。本日の参加者内訳は、小学生2名、中学生11名、高校生2名、大人46名、合計61名です。



受付開始2



開会式

受付では検温と手の消毒、そして町内区分の台帳に氏名、体温を記入し受付完了です(写真上左)。

ソーシャルディスタンスを取っての開会式が始まりました。溝口啓二町内会長からは、今日の訓練内容(三角巾取扱い、代替え担架による救助法、AED取扱い、手持ち消火器取扱い)の説明、また大規模災害発生時には、地域に常に密着している中高校生の即戦力が必要ですよとの挨拶がありました(写真上右)。



[高齢者表彰](#)

続いて今年度の萩町内高齢者表彰です。長年の民生委員活動、また地域の衛生・美化運動に貢献された鈴木秀治さん(78)の表彰です(写真上左)。



[三角巾取扱い1](#)

自主防災訓練が開始されました。最初に三角巾の取扱い、8つ折り三角巾の作成方法と三角巾の結び方、解き方です(写真上右)。



[三角巾取扱い2](#)



[三角巾取扱い3](#)

次に三角巾による処置の仕方、頭部の処置、腕の固定などを防災委員や第4分団消防団員の方々から、指導を受けています(写真上左右)。



[簡易担架1](#)



[簡易担架2](#)

棒と毛布による簡易担架の作り方です…毛布を広げ、約1/3の場所に棒を1本置き、棒を包み込むように毛布を折り返します。もう1本の棒を、折り返した毛布の上に(端を15cm以上確保)置き、残りの毛布を折り返し完成です。搬送時は、原則として負傷者の足側を進行方向にして負傷者の様子を確認しながら搬送します(写真上左右)。



[AED取扱い1](#)

AEDを用いた救急蘇生法の流れ訓練

- ①負傷者に近づき、肩をかるく叩きながら大声で呼び反応の有無を確認する。
- ②反応が無ければ大きな声で「誰か来てください！」大声で人を集め「あなたは119番へ連絡してください！」別のの人に「あなたはAEDを持ってきてください！」と指示します。
- ③呼吸の確認をする（負傷者のそばに座り10秒以内で負傷者の胸や腹部の上がり下がりを見て、普段どおりの呼吸をしているか判断する）。
- ④負傷者に呼吸が無いと判断したら、ただちに胸骨圧迫（心臓マッサージ）を行います。
- ⑤AEDの到着後
 - ・AEDを負傷者の横に置く
 - ・AEDの電源を入れる
 - ・電源が入ったら、その後は音声メッセージに従ってください。



[AED取扱い2](#)

※AED（自動体外式除細動器）とは

・AEDは、装着すれば自動で負傷者の心臓のリズムを解析し、除細動の必要があれば音声メッセージで具体的な指示をしてくれます。徐細動の必要があるときのみ実施するよう指示を出す仕組みになっており、安全性が確保されていますので、一般の人でも簡単に確実に操作できます。

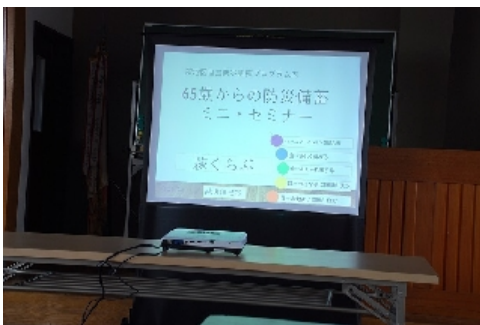


[手持ち消火器1](#)

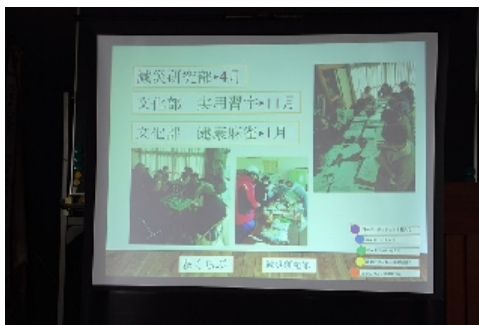


[手持ち消火器2](#)

消防第4分団の指導による、手持ち消火器による初期消火訓練が実施されています。小学生・中学生・高校生が真剣に取り組んでいます（写真上左右）。



[萩クラブ1](#)



[萩クラブ2](#)

萩公民館2階ホールでは、萩クラブ減災研究部による「65歳からの防災備蓄について」と題し、ミニ・セミナーが開催されています。

現在までの活動内容、そして農林水産省食用備蓄ガイドを参考とした「65歳からの防災備蓄」についてOHPを用い、萩クラブ役員の間美恵子さんに分かりやすく説明して頂きました(写真上左右)。

静岡県が定める「地域防災の日」(12月第一日曜日)に大地震や風水害などへの備えを再認識し意識高揚のために毎年行っています。コロナ禍の中、参加者は昨年にくらべ少々減少ですが、小中高生に積極的参加を頂け、訓練テーマの防災力…人の和・知恵の和・地域の和を感じた活動でした。

取材:中伊豆地区担当 生きがい特派員 安藤 智章